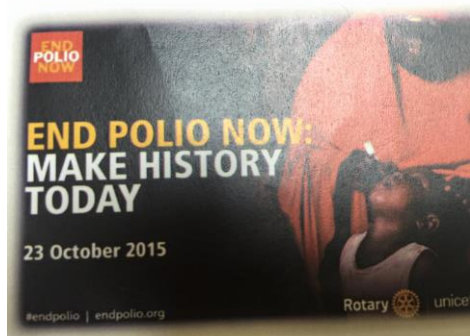


# ガバナー月信

第2640地区 2015年11月(5)



Be a gift to the world

2015-16年度の国際ロータリー会長に就任するK.R. ラビンドラン氏は、同年度のテーマを「世界へのプレゼントになろう」としました。ラビンドラン氏はロータリー会員に、より良い世界をめざして、時間、才能、知識を世界中の地域社会に贈るよう呼びかけます。「ロータリアン会員が自らを『プレゼント』することによって、世界中の人びとの生活を真に改善できるのです」



エバンストンよりご挨拶申し上げます。

ロータリアンに、専門家グループについてもっと知っていただくため、同グループが四半期に1度発行しているニュースレター「Tech Talk」を、すべてのガバナーに配信いたします。「Tech Talk」の最新版(2015年8月)を添付いたしましたので、ぜひ、地区内のロータリアンに転送、または地区のウェブサイトやニュースレターに掲載してください。

## 国際ロータリー 第2640地区ガバナー事務所

- ・住所 〒640-8281 和歌山県和歌山市湊通丁南1-3-1
- ・TEL 073-433-6077
- ・E-mail office@2640.jp
- ・ホームページ <http://www.2640.jp>



# RI会長からのメッセージ

2015年11月

- **会長賞(ローターアクトクラブ)**
- 世界各地のローターアクトクラブは、地元や海外でのボランティア奉仕を通じて社会に貢献しています。ローターアクターとしての誇りを培うために、会長賞にぜひチャレンジしてください。完了した活動項目は、**2016年4月1日**までにご報告ください。
- ローターアクター、ローターアクトクラブ会長、地区ローターアクト代表は、顧問ロータリアン、提唱ロータリークラブ、地区ローターアクト委員長、地域コーディネーターと協力して、ローターアクトクラブの活動状況を随時確認することとお勧めします。これらのロータリアンは、以下のリンクから「会長賞ダッシュボード」でローターアクトの活動状況を閲覧できます。
- [クラブレポート](#)  
[地区レポート](#)
- **必須条件**
- ローターアクトクラブ会長は、[ローターアクトクラブ連絡先フォーム](#)で自身が会長であることを報告、あるいはクラブの顧問に関する情報を報告する。
- クラブ会員名簿が最新のものであることを確認する。この確認は、「クラブの運営」から会員データの更新ページを開き、「[連絡先情報の確認](#)」をクリックして行うことができます。
- **そのほかの要件**
- 2015年7月1日から2016年4月1日までの間に、少なくとも**3項目**を満たす必要があります。
- ウェブサイトの「[クラブの運営](#)」のページで、場所、時間、曜日を含むクラブ例会の情報を追加、または更新する。
- 上記ウェブサイトで、最低15名のクラブ会員を報告する。会員は、[My ROTARY](#)のアカウントを作成して自身の情報を登録できます。あるいは、ローターアクトクラブ会長が代わりに「[クラブの運営](#)」ページから報告することもできます。
- [ロータリーショーケース](#)に、クラブが実施した少なくとも1件の活動を掲載する。
- ロータリーの[アイデア応援サイト](#)に、支援を必要としているプロジェクトを掲載、あるいは、既に掲載されているプロジェクトへの支援を行う。
- ロータリーの[年次基金またはポリオプラス](#)に、クラブからの寄付、あるいは、いずれかのクラブ会員による寄付を行う(金額は不問)。
- クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアページを維持・管理し、それらについての情報をロータリーのウェブサイトの「[クラブの運営](#)」のページで報告する(また、それらのサイトが、[ロータリーのビジュアルアイデンティティのガイド](#)に沿っていることを確認する)。
- **リソース&参考資料**
- [ローターアクト用会長賞書式](#)のダウンロード
- [ブランドリソースセンター](#)でロータリーのロゴ、画像、テンプレートをダウンロード
- **ロータリーからの支援**
- お問い合わせ: [riawards@rotary.org](mailto:riawards@rotary.org)

掲載され次第更新します。

# ・ ローターリー財団の 専門家グループ

## ロータリー財団の専門家グループ

### 活動紹介とメンバー募集のご案内

ロータリー財団の専門家グループとは、ロータリアンによる補助金プロジェクトの計画と適切な資金管理において専門知識とアドバイスを提供し、資金手続きにおいてロータリー財団管理委員会を援助するグループです。メンバーは、補助金プログラムに関する知識・経験と、ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおける専門知識がある世界各地のロータリアンボランティアです。

#### 専門家グループの役割

メンバーは、以下の方法で、人道的プロジェクトの計画、モニタリング、評価に関与します。

**申請とプロジェクト実施におけるアドバイス:** グローバル補助金の申請とプロジェクトの実施においてサポートします。

**専門的見地からの評価:** 補助金を申請したプロジェクトの実行可能性を評価するために、財団職員をサポートします。これらは書類の確認のみとなるため、旅行は含まれません。

**現地視察:** 提案されたプロジェクトの実行可能性を評価(事前視察)、または、継続中の実施状況を確認(中間視察)します。これらの視察にはプロジェクト現地への旅行と、提唱者、恩恵を受ける地域住民、協力団体の代表者との会合が含まれます。

**監査:** 財務管理と補助金資金の管理状況を評価します。この任務には、定期的・不定期的監査、対象を絞った監査、運営審査が含まれ、現地への旅行や重要関係者との会合が含まれます。

# ・ ロータリー財団の 専門家グループ

## ロータリー財団の専門家グループ

### 活動紹介とメンバー募集のご案内

#### メンバーに求められること

専門家グループにはさまざまな役割が、メンバーには次のような資  
質が求められます。

**経験:** ロータリー財団の補助金プログラムに関する専門知識と経験

**言語スキル:** プロジェクト現地で使用される言語でのコミュニケーション  
能力

**必要な経費:** プロジェクト現地から近い場所に住んでいること

**評価の質:** 限られた時間内における質の高いプロジェクト評価

**文化的理解:** プロジェクト現地と恩恵を受ける地域社会に対する  
文化的理解

#### メンバーの募集

現在、特に次の地域と重点分野で、メンバーとなっただけのロータリアンを募  
集しています。

**アフリカ地域:** 「水と衛生」と「母子の健康」の分野を中心とする全ての重点分野

**インド／東南アジア:** 「水と衛生」と「母子の健康」の重点分野

**北米／中米:** スペイン語のスキルがある監査の専門家

# ロータリー財団の 専門家グループ

## Tech Talk



ロータリー財団専門家グループのニュースレター・2015年8月

### 2015-16 年度 財団専門家グループ

#### 委員長・副委員長

Philip J. Silvers (フィリップ J. シルバース)  
(米国)

Francis F. Tusubira (フランシス F. ツスビラ)  
(ウガンダ)

#### 基本的教育と識字率向上

Maureen V. Duncan (モーリーン V. ダンカン)  
(米国)

Ian W. Geddes (イアン W. ゲデス) (スコットランド)

William F. Stumbaugh ウィリアム  
Stumbaugh (エクアドル)

#### 母子の健康

Himansu K. Basu (ヒマンス K. バス) (英国)

Catherine Noyer-Riveau (キャサリン・ノイヤー・リボー) (フランス)

Deepak M. Purohit ディーパック Purohit  
(インド)

#### 疾病予防と治療

Rajaratnam T. Arasu (ラジャラトナム T. アラス) (マレーシア)

Frederick W. Hahn Jr. (フレデリック W. ハーン・ジュニア) (米国)

Babu Chacko バブ・チャコ (インド)

#### 経済と地域社会の発展

Cecelia D. Babkirk セシリア D. Babkirk (米国)

Chalermchat Chun-In (チャラームチャット・チャンイン) (タイ)

Jean-Claude Piers de Raveschoot (ジャン・クロード・ピエール・ド・ラベスクート) (フランス)

#### 平和と紛争解決/紛争予防

David I. Clifton Jr. (デービッド I. クリフトン・ジュニア) (米国)

Mark Zober (マーク・ゾバー) (イスラエル)  
シモーナ Pinton (イタリア)

#### 水と衛生

Kenneth W. Grabeau (ケネス W. グラボー)  
(米国)

John Kevan (ジョン・ケバン) (オーストラリア)  
Gedson J. Bersanete (ブラジル)

### 財団専門家グループの皆さま、ロータリーリーダーの皆さまへ

フィル・シルバース (Phil Silvers)

専門家グループメンバーならびにシニアリーダーの皆さま



私たち専門家グループのメンバーは、先日のサンパウロ国際大会で多くの機会に恵まれました。木曜に行われた専門家グループの研修では、積極的な出席者たちによって話し合いは大いに盛り上がり、現地視察を想定した寸劇では、ツス・ツスビラ副委員長が見事な演技を披露してくれました。金曜には、世界各地で行われた補助金76件を評価する特別任務が17名のメンバーによって行われました。

国際研究会の本会議では、専門家グループについて発表する機会をいただきました。グループメンバーであり、国際研究会の議長を担ったキース・バーナード・ジョーンズ元RI理事に心より感謝いたします。質疑応答の時間では、RRFC(ロータリー財団地域コーディネーター)の方から、専門家グループについて聞いたことがないとのコメントが寄せられました。残念ではありますが、驚くべきことはありません。私たちは専門家グループに対する認識向上の取り組みを続けておりますが、シニアリーダーの中には、依然として私たちの取り組みを認識されていない方もいます。また、新しい補助金モデルを理解するために専門家グループの支援を必要とするクラブや地区もありますが、私たちの存在が知られていないという課題もあります。

国際大会では、専門家グループに関する分科会が開かれ、地域調査に関する分科会でもメンバーが出席・発表しました。これらの分科会での発表はどれも素晴らしく、特にビル・スタンバーグさんは、現地視察における専門家グループの重要性と、現地のクラブ・地区との好ましい関係構築について雄弁に発表されました。メンバーと現地の人たちの間に相互の信頼を築くことができなければ、率直な意見交換は困難となり、有効な情報を集めることも難しくなります。

前述のように、グローバル補助金の計画・申請段階で私たちからサポートが得られるクラブや地区は多くあると思います。地域調査、持続可能な成果、モニタリングと評価においては特に役立つサポート提供が可能になり、実際にこれまでも、世界各地の文化・言語圏で、重点分野ごとの役立つ専門知識を提供してきました。国際ロータリーでは、今後も専門家グループメンバーを対象としたアンケート調査が実施されますので、私たちの取り組みをさらに向上させるためにも、調査にご協力いただきたいと思います。

2014-15年度には、合計174件の任務(書類審査67件、現地視察67回、監査40件)が行われ、過去最高の任務量となりました。ご協力いただいたメンバーの方々に、心よりお礼申し上げます。

また、非営利組織の評価団体“Charity Navigator”によって最高評価の4つ星がロータリー財団に与えられたことにつきましても、専門家グループメンバーの皆さまによる資金管理の取り組みが大きな力となりました。

今後、補助金モデルの評価が開始されます。この際、評価対象となるプロジェクトが、グローバル補助金の実施地域ごとにランダムで選ばれることを、提唱者が理解していることが極めて重要となります。本評価の目的は、グローバル補助金について理解を深めることであり、個々のプロジェクトを審査することではありません。また、評価対象として選ばれたプロジェクトの提唱者情報は公開されません。私は、この評価が大きな成果をもたらすものと、大きな期待を寄せております。

今後とも皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

フィル・シルバース

先日に行われたアンケート調査では多くの方からご回答をいただき、心より感謝申し上げます。専門家グループ活動の計画と実施をさらに向上させるために、今後も調査を行うことを予定しております。その際はぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

# ロータリー財団の 専門家グループ

Tech Talk

ロータリー財団専門家グループのニュースレター

## SMARTな目標設定を

サンパウロ国際大会中の専門家グループ研修で、「SMART(賢明)な目標」とは何かに関する話し合いが行われました。以下がその概要です。今後、グローバル補助金の計画についてロータリー会員に助言される際は、これらの点をご考慮ください。

**目標(objectives)とは：**目標とは、プロジェクトで期待される効果や変化です。プロジェクト計画について助言する際は、プロジェクト全体の目標を定めてから、それに基づく計画を立てる重要性を強調しましょう。

**目標と測定方法(Measures)：**目標は、プロジェクト全体を通じて目指すべき変化です。測定方法とは、その変化に向けた進捗を図るための基準です。たとえば、目標が「小学5、6年生の識字率向上」である場合、「教師研修の実施時間」が測定方法の一つとなるでしょう。

グローバル補助金の要件には「目標」が含まれていませんが、地域調査後のプロジェクト計画の際、最初に検討すべきことは目標設定です。目標が定まっていれば、関係者全員の足並みを揃えることも容易になります。

目標設定後は、達成に向けたステップを検討します。目標達成と関係ない取り組みや活動はプロジェクトに含めるべきではありません。プロジェクト実施段階でも、定期的に目標達成への道筋を確認し、順調に進んでいることとそうでないものを見定め、適宜調整する必要があります。

### SMARTの要素

**S – Specific (明確)：**明確な目標であれば、達成に向けて何をすべきかについて関係者全員で共通の理解を得ることが容易になります。

**M – Measurable (測定可能)：**プロジェクトで生じる変化を量的に測定する方法が必要とされます。成果を具体的に把握することがポイントです。

**A – Achievable (達成可能)：**決められた期限までに達成できる現実的な目標を定め、関係者全員で確認するようにします。

**R – Relevant (重要)：**プロジェクトが実施される地域社会にとって関連性が高く、重要な目標とします。地域社会にとって重要でない場合は、再検討する必要があります。

**T – Time-bound (定まった期限)：**期限を定めることは、達成に向けて順調に活動することへの意欲につながります。また、設定した目標が期限までに完了できることを確認してください。

**クイズ：**以下4つの目標設定では、AまたはBのどちらがよりSMARTな目標でしょうか？

#### 目標設定1

水システムを効率的に運営するために、政府職員全員の能力を高める

利用できる水と配水設備を管理、維持するために、地元政府機関の特定職員の能力を高める

#### 目標設定2

3つの村で公衆衛生への認識を向上し、住民による衛生習慣の実践を促進する

3つの村で公衆衛生と衛生習慣を改善する

#### 目標設定3

特定地域での下痢性疾患による児童罹患率・死亡率を低減する

水分補給の改善策ときれいな水を地域社会に提供する

#### 目標設定4

都市の青少年グループ間の対立を緩和する

青少年平和プロジェクトを通じて、参加者間の非暴力コミュニケーションを増やす

正解

目標設定1： B

目標設定2： A

目標設定3： A

目標設定4： B

## 最近の現地視察



Hans-Juergen Schollさんは、タンザニアでの現地視察で住民会合に参加



Mats Bartlingさんが視察したザンビアでの水プロジェクト

# ロータリー財団の 専門家グループ

## Tech Talk

## ロータリー財団専門家グループのニュースレター

### 私たち自身の言葉で

### 現地視察を通じた関係構築

ウィリアムStumbaugh、パイア・デ・カラケス、エクアドル（4400地区）のロータリークラブ



現地視察で生徒と交流したBill Stumbaughさん

専門家グループメンバーは、グローバル補助金プロジェクトの現地視察が決まったら、どうすれば現地のロータリアンや住民と最も効果的に信頼・協力関係を築くことができるか検討しなければなりません。このことは、視察の質そのものにも影響を与えます。私の場合、「四つのテスト」の要素（真実、公平、友情、全員の利益）を考えることを大切にしています。

関係構築は、現地視察の決定後、プロジェクトの連絡担当者や関係者に送る最初のEメールで始まり、このメールが、その後のやり取りと関係構築の質を決定づけるでしょう。

最初のメール内容には、日時や査察内容について明確に書く必要がありますが、友好的な表現を用いるようにし、事務的・形式的な印象を与えないことが大切です。私は、書面で自己紹介をする際、重点分野に関連する職歴や、ロータリーの国際プロジェクトにおける経験について説明します。

現地の会員には、さまざまなかたちで要件・基準を満たすための調整をしてもらうことになるため、自分たちのプロジェクトが審査されるという自覚をもってもらう必要があります。同時に私は、プロジェクト担当者から提供される情報から、相手についてよく知ろうと努力します。

現地についたら元気に振舞い、関係構築への前向きな姿勢を示します。自ら歩み寄り、自然なかたちで自己紹介することも大切です（大勢を相手に自己紹介を繰り返すことになりませんが、相手によって方法を変えて自己紹介します）。初対面でも前向きに話を聞くようにすれば、相手は自ずと私生活や夢について語るようになるでしょう。自分の経歴、学歴、ロータリーでの経験については、会話の自然な流れの中で話し、常に誠実であるよう心がけましょう。極力オープンに話すようにし、考えや気持ち、学んだことや間違えたことも伝えるようにします。また、肩の力を抜いて、専門用語の使用は避け、社会的な身分格差を意識させないように気をつけてください。

身振り手振りを生かしながら巧みにコミュニケーションを交わし、相手に真摯に耳を傾けることは、新たな関係構築にとって非常に重要となります。消極的な人には、質問をしたり、近づいて話の仲間に加えたりすることもできます。相手の尽力をねぎらい、意見に理解を示すことでも、参加意欲を促すことができるでしょう。また、相手が考えているときには急

かさずに、じっくりと回答を待ちましょう。

自由参加を奨励するとともに、プロジェクトの重要性やニーズに応えるクラブの善意について触れることで、より多くの情報を引き出すこともできます。また、プロジェクト関係者のフラストレーションや落胆には共感と理解を示すことが大



グアテマラでの現地視察の様子

切です。

最後に、現地訪問中に予定されている活動には、すべて熱意をもって参加することです。現地では査察任務に集中し、現地の人びとに細心の注意を払うべきです。また、提案や招待を積極的に受け入れることで、地域社会やその文化についてさらに詳しく知ることができます。自分にとっての快適な場所や範囲を超えて探究心を発揮し、異文化理解に努めましょう。

また親しみやすいゲストとして振舞いましょう。不機嫌そうで用心深いゲストは好まれません。「超

# ロータリー財団の 専門家グループ

## Tech Talk

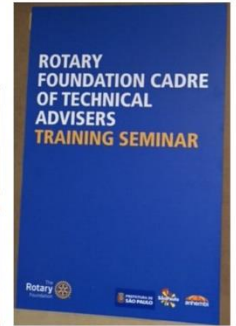
## ロータリー財団専門家グループのニュースレター

### 前ページからの続き

私の奉仕」を実践するもの同士、全身全霊を傾けて信頼を築いてください。

注意点：文化や慣習における違いを前もって調べ、理解しておくことが大切です。必要に応じてコミュニケーションの方法を変える必要もあるでしょう。

### サンパウロでの研修



サンパウロでの研修で自らの経験を発表したGedson Bersaneteさん（第4470地区バス  
トガバナール）

### 専門家グループのウェブサイトもご利用 ください。

ロータリーのウェブサイト([www.rotary.org](http://www.rotary.org))のMy ROTARYに登録している専門家グループのメンバーは、My ROTARYにログインし、プロフィールのページから「ワークグループ」をクリックしてください。このページでは、各種資料、アンケートのツール、ニュースや情報をご覧いただけます。また、フォーラムへの参加、研修資料のダウンロード、「Tech Talk」アーカイブ、フォトギャラリーなど、さまざまな機能をご利用いただけます。

去る6月のサンパウロ国際大会で専門家グループの研修が行われ、18カ国から50名以上のロータリアンが出席しました。地域調査の重要性と目標設定に焦点を当てた研修では、現地視察の意見交換会について情報が提供されました。また、「持続可能性のための6つのステップ」に関するパネルディスカッションと、同じ専門分野のグループメンバー同士での円卓討論が行われました。研修に出席できなかった方は、専門家グループメンバーの共有サイトからプレゼンテーションを含む研修資料を見ることができます。

さらに、国際大会初となる専門家グループの分科会には、約100名のロータリアンが出席しました。経験豊かな南米の専門家グループメンバーが紹介され、さまざまな意見交換が行われました。

### 今後の研修行事

次回の研修は、9月17日(木)、ケニアで開催される第20Aゾーンのロータリー研究会に併せて実施されます。この研修には、世界中の専門家グループメンバー、ならびに同グループや資金管理に関心のあるすべてのロータリアンが出席できます。[詳しくはこちら](#)

11月5日(木)には、トルコで開催される第20Bゾーンのロータリー研究会で研修が行われます。詳しい情報は、Eメール([cadre@rotary.org](mailto:cadre@rotary.org))でお問い合わせください。

### 専門家が必要とされる分野・地域

ロータリアンの持続可能・測定可能な補助金活動を支える専門家グループの取り組みは、ロータリー補助金の活動とともに進化します。そのため財団では、専門家グループメンバーとして次の領域でご協力いただける、さらに多くの有志ロータリアンを探しています。

- 地域社会のニーズ調査
- モニタリングと評価
- 持続可能なプロジェクトの立案
- 水と衛生分野の専門家
- 保健分野の専門家
- スペイン語を話せる北米・中米地域の方
- 6つの重点分野のいずれかに該当する専門知識をお持ちで、アフリカ、東南アジア、中米にお住まいの方

これらの募集領域・分野に該当する方をご存知である場合は、ぜひEメール([cadre@rotary.org](mailto:cadre@rotary.org))でご連絡いただけますようお願い申し上げます。

### 資金管理担当職員

メレディス・パルルー

マネージャー

[meredith.burlew@rotary.org](mailto:meredith.burlew@rotary.org)

クリスチャン・ペペラ

シニア・コーディネーター、専門家グループ

[christian.pepera@rotary.org](mailto:christian.pepera@rotary.org)

キャサリン・シューマー

監査、モニタリング、地区支援スペシャリスト

[catherine.schumer@rotary.org](mailto:catherine.schumer@rotary.org)

トーマス・ウッズ

監査とモニタリングスペシャリスト

[thomas.woods@rotary.org](mailto:thomas.woods@rotary.org)

ラジャシュ・アナン

会計監査シニア・コーディネーター

南アジア事務局、インド

[rajesh.anand@rotary.org](mailto:rajesh.anand@rotary.org)



# ロン・バートンRI会長からのメール



Ron D. Burton  
President, 2013-14  
T +1.847.866.3025  
F +1.847.866.3390  
ron.burton@rotary.org

2014年4月29日

3F Nishiei Bldg. 2-27-1, Habu-Cho  
Kisiiwada City, Osaka  
Japan 596-0825

地区ガバナー 久保 治雄様

この度、第2640地区が2015-16年度ガバナーを選出する2度目の手続きを完了したと伺いました。直前ガバナーの北中登一氏が実施した1度目の選出手続きでは、2012年9月に豊澤洋太朗氏を選出し、同年10月にRIへ必要書類を提出しています。これに対して当時、異議や選挙手続きに関する申し立てはRIに一切提出されませんでした。

ところが、久保様がガバナーに就任後、豊澤ガバナーノミニーは失職したとの通知を発行の上、2度目の選出手続きが実施されました。2014年3月に完了したこの2度目の選出手続きでは、2015-16年度ガバナーとして新たに岡本浩氏を選出するとの通知が地区内クラブに送られました。

ここでご留意いただきたい点は、1度目のガバナー選出手続きは正規に実施されたものであり、豊澤ガバナーノミニーを失格とする根拠がないことです。さらに、地区ガバナーには、既に完了したガバナー選出手続きを無効としたり、選出済みのガバナーノミニーを失格とする権限はありません。

従って、豊澤洋太朗氏が第2640地区2015-16年度地区ガバナーであることをここに確認し、ロータリーの「超我の奉仕」の精神の下、久保様をはじめ地区内すべてのロータリアンが豊澤氏をサポートするようお願いいたします。またこの点について、至急、地区内クラブへ通知を行ってください。岡本浩氏については、将来の地区ガバナー候補としてご検討いただくことを奨励いたします。

第2640地区における論争は未だ解決に至っていないことから、小沢一彦管理委員に引き続き、私の特別代表となつていただくことを依頼し、恒久的な解決に向けた調整をお願いしました。ゲイリー・ホアンRI会長エレクトも、2014-15年度に小沢管理委員が続けて調整役を務めることに同意しています。

第2640地区が相違を乗り越えて前向きな解決策を見出せるよう、地区リーダーと地区内ロータリアンが協力することを改めてお願いいたします。まずはこれまでの紛糾を過去のものと考えてはじめて、地区を健全な状態に戻し、ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を実現するための真の奉仕に取り組むことができるはずです。

ご協力をよろしくお願いいたします。

ロン・バートン

CC: ゲイリー・ホアン 2014-15年度RI会長  
小沢一彦 ロータリー財団管理委員  
松宮 剛 RI 理事  
北 清治 RI 理事  
ジョン・ヒューコ RI 事務総長

# 地区目標「ロータリーの原点に戻ろう」

## 地区運営方針

1. ロータリーの基本に戻り、奉仕と友愛を基調とした地区運営を目指す。
2. 地区内クラブの理解度不足による意見の相違を解決する。
3. 地区の各種会議をウェビナーで行う。
4. 地区内のクラブは年齢35歳未満の会員の会費と入会金を免除できる。  
さらに、地区は、この年齢層の会員の地区賦課金を減額できる。

## 2015-16年度 地区目標

1. ロータリーの基本を学ぶ
2. 財団をサポートする
3. 会員増強に努める
4. 青少年活動を推進する

### 数値目標

会員増強 1クラブ純増 最低1名  
新クラブ 最低1クラブの結成  
財団寄付 200ドル/会員  
ポリオ・プラス 50ドル/会員  
米山奨学 20,000円/会員

## ロータリーの特別指定月間

ロータリーの特別指定月間は、2015年7月1日より変更されます

- 8月: 会員増強・新クラブ結成推進月間  
9月: 基本的教育と識字率向上月間  
10月: 経済と地域社会の発展月間  
11月: ロータリー財団月間  
12月: 疾病予防と治療月間  
1月: 職業奉仕月間  
2月: 平和と紛争予防／紛争解決月間  
3月: 水と衛生月間  
4月: 母子の健康月間  
5月: 青少年奉仕月間  
6月: ロータリー親睦活動月間

# ロータリー財団月間

いつもロータリー財団へのご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

10月24日は世界ポリオデー。

11月はロータリー財団月間に指定されています。各クラブではこの月間に備えて、様々な準備をされておられると存じます。

ロータリー財団の正式名称は、国際ロータリーのロータリー財団です。国際ロータリーとロータリー財団に違いがあるでしょうか。ロータリーの奉仕の理想を信奉する点では国際ロータリーもロータリー財団も一体のものです。

ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を、世界中の人びとへの奉仕に役立てています。時間と資金、そして職業人としての経験と知識を生かして奉仕活動をするロータリアンの世界的ネットワークを通じて、ご寄付は、ポリオの撲滅や平和の推進といったロータリーの優先活動のために有効に活用されています。また、財団の補助金は、ロータリアンが貧困、識字、飢餓などの問題に持続可能な方法で取り組むことを可能とします。

徹底した資金管理、慈善団体としての高い評価、独自の資金モデルは、ロータリー財団が皆さまのご寄付を大切にしていることを物語っています。今、そして未来の世代のためにより良い世界をつくるロータリーの活動をご支援ください。

## ロータリー財団の歴史

1917年、アーチ C. クランフリ会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案。この基金が1928年に「ロータリー財団」と名づけられて国際ロータリー内の新しい組織となり、現在のロータリー財団にいたっています。

## 財団の成長

1929年、財団は初の補助金500ドルを国際障害児協会へ贈りました。この協会は、ロータリアンだったエドガー F. “ダディー” アレンが創設したもので、後に「イースター・シールズ」（米国の慈善団体）となりました。

1947年、ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなると、多くの人びとから国際ロータリーに寄付が寄せられました。この寄付は「ポール・ハリス記念基金」となって、その後のロータリー財団の発展のために役立てられました。

## 財団プログラムの変遷

1947年

財団初のプログラム「Fellowships for Advance Study（高等教育のためのフェローシップ）」を開始。このプログラムは後に「国際親善奨学金」として知られるようになる。

# ロータリー財団月間

1965～66年

財団が新たに「研究グループ交換(GSE)」「Awards for Technical Training(技術研修のための補助金)」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation(ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金、後の「マッチング・グラント)」」の3つのプログラムを開始。

1978年

「保健、飢餓追放、人間性尊重(3-H)補助金プログラム」を開始。3-H補助金のプロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年

全世界でポリオの撲滅をめざす「ポリオプラス・プログラム」を設置。

1987～88年

初めての平和フォーラムが開催され、これが「ロータリー平和フェロシップ」創設のきっかけとなる。

2013年

世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、新しい補助金モデル(地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント)を導入。

1917年に26ドル50セントの寄付から始まったロータリー財団は、10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

インターアクト週間

世界インターアクト週間(11月5日を含む1週間) (World Interact Week)

RI理事会は、ロータリークラブとインターアクトクラブに、11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」として遵守するように奨励しています。それは、ロータリークラブとインターアクトクラブを「顕著であり、国際規模の活動」に参加させるためです。

## ロータリー資料より

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。  
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。  
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。  
以下資料のご紹介を致します。

## デジタル化されたロータリー文献(3)

- ◎ 「留学生援助の意義」 増田房二 吹田R.C. 1978 14p
- ◎ 「D.259『座談会 米山奨学会に望む』に対応して」 増田房二  
米山記念奨学会 1983 5p
- ◎ 「米山奨学事業の精神的原点」 増田房二 1983 34p
- ◎ 「落穂集〔改訂版〕」 斎藤堅治 青森R.C. 1979 186p
- ◎ 「決議23-34はロータリーのキイ・ポイントである 増補改訂版」 末積 正  
関西ロータリー研究会 1987 125p
- ◎ 「“He Profits Most Who Serves Best” (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)について思う」 鳴海淳郎 1998 11p
- ◎ 「ハーバート・J・テラーの『我が自叙伝』を読んで」 鳴海淳郎 1999  
8p
- ◎ 「卓話 最近のロータリーに思う 附国際ロータリーに物申す」 油木恒久  
2004 15p
- ◎ 「ロータリー100年その歩んだ道」 油木恒久 2006 31p
- ◎ 「スリランカ10年 1998-2009 -学校から始めた生活習慣病の予防」 小林 博  
2009 70P  
[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階

TEL(03) 3433-6456・FAX(03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日